

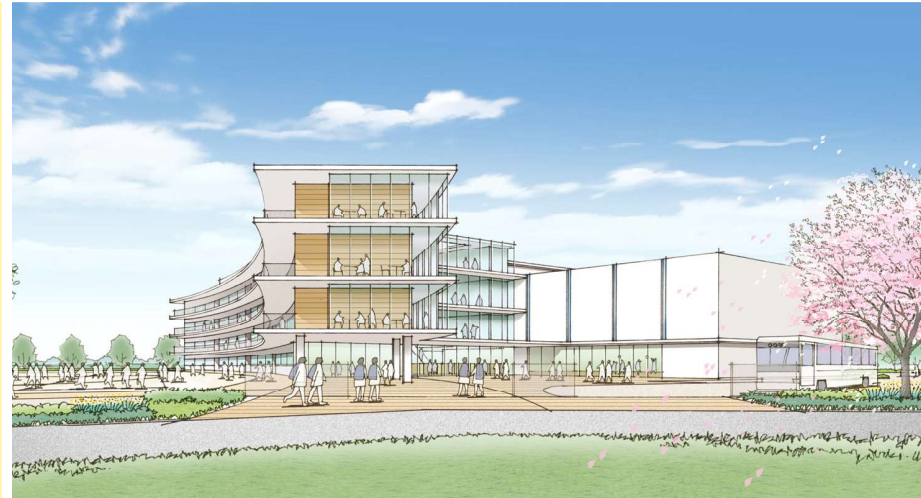
【みらい平地区新設中学校建設工事基本設計概要書】

学校全体が学びの場となる空間づくりで、新しい時代の学びを実現

生徒が毎日ワクワクして学べる学校

新学習指導要領で示された新しい時代の学びを実現するために、生徒の主体的な学びを導き、様々な交流を通じて社会性を身につける場づくりが必要です。

学びと交流のシンボル空間「みらいコモンズ」、そして様々な学習形式にフレキシブルに対応できる「ユニット型教室」。この2つの提案による学校全体が学びの場となる空間づくりで、新しい時代の学びを実現し、生徒が毎日ワクワクして学べる学校をつくりま

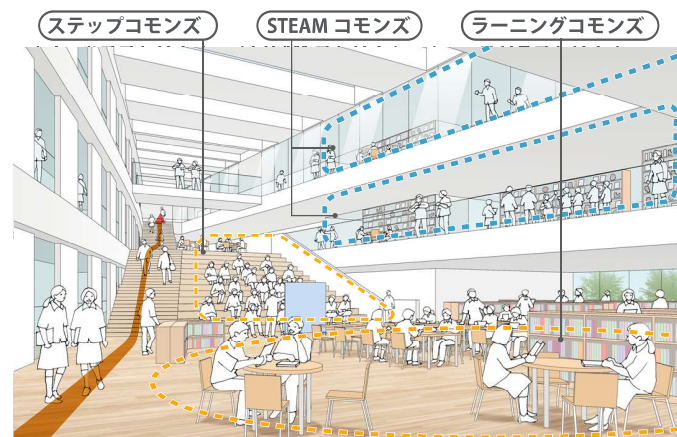


●地域に開き、生徒を迎える外観のイメージ

学びと交流の学校のシンボル空間「みらいコモンズ」

学びを活性化する三つの空間連携

- 学びの中心：「ラーニングコモンズ」 [2F]
- 深める空間：「STEAMコモンズ」 [特別教室]
- 伝える空間：「ステップコモンズ」 [各階をつなぐ]



●連携する三つの空間のイメージ

学習機会を生む(学びの中心ラーニングコモンズ)

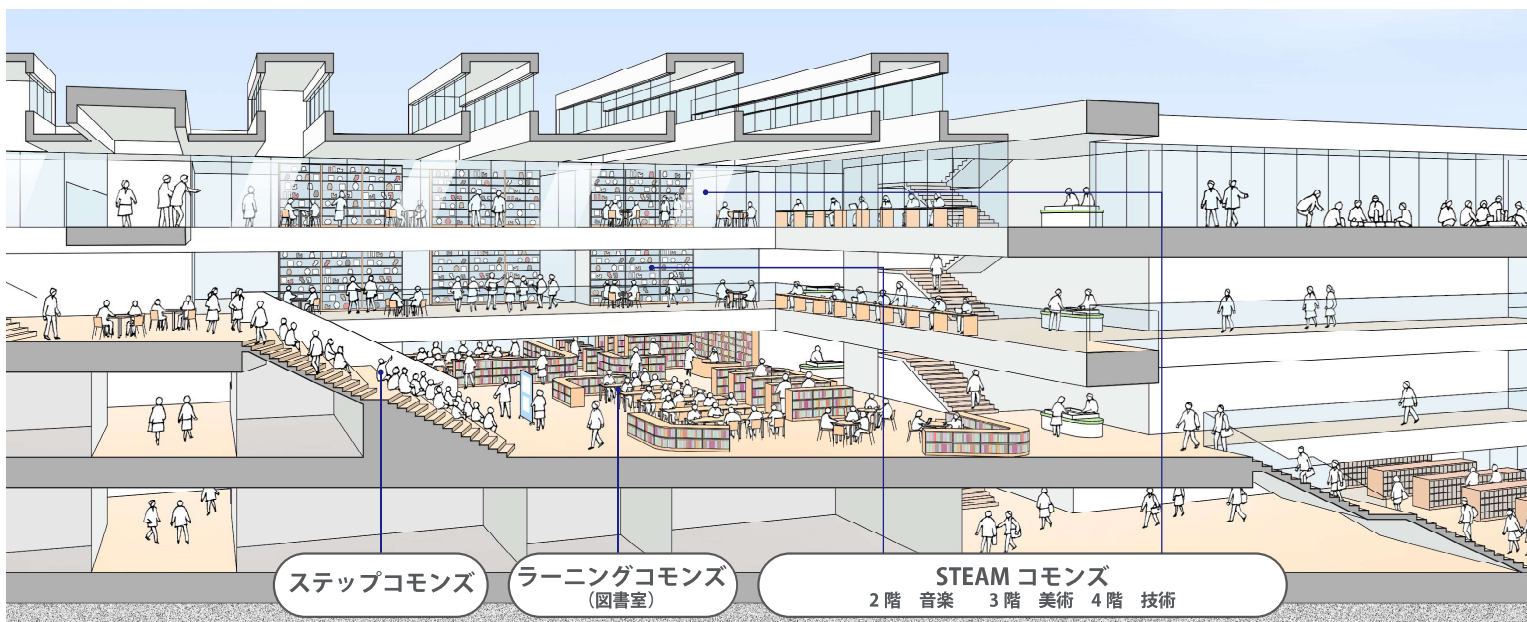
- ① ラーニングコモンズを学校の中央に配置
- ② 気軽に図書に触れられる「オープンな図書室」
- ③ 見せる書架デザインで、興味を誘発する書架

伝える力を磨く(ステップコモンズ)

- ① 学習成果や部活の表現の場
- ② 日常動線に居場所と交流



●交流を生むステップコモンズ



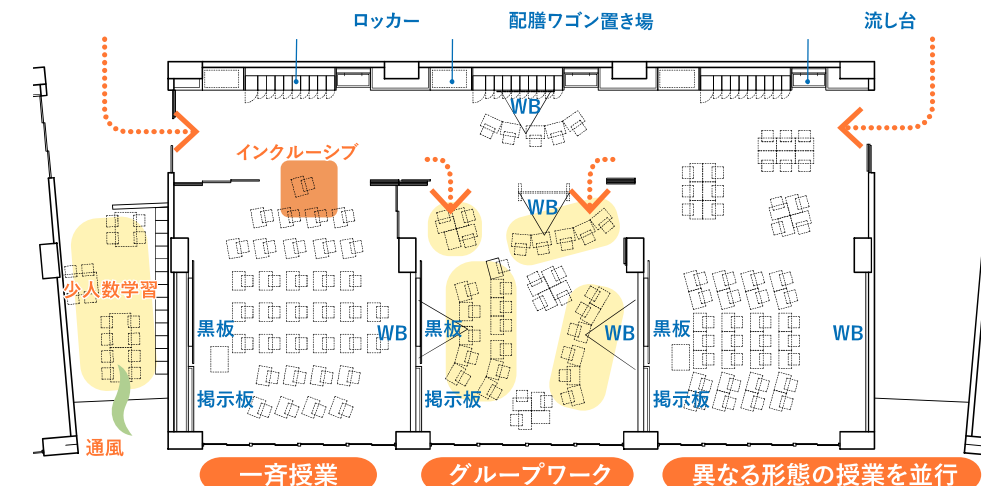
ユニット型教室：みらい志向の学校づくり

大規模校でも安心して過ごせるユニット型教室

- ① 生活拠点の落ち着きを確保：3教室1ユニットが大規模校でも安心できる生活環境
- ② 教師の目配りが可能な規模：1ユニット100名程度、生徒の様子がわかり、教師間連携にも有効
- ③ 廊下と一体の教育空間：アクティブラーニングを可能にする、騒音区画、空調区画

アクティブラーニングを実現する教室づくり

- ① フレキシビリティ：ソーシャルディスタンス、将来の授業形態の変化に対応
- ② 壁面を確保した教室：前面だけでなく黒板面、ホワイトボード面により多様な学習内容に対応
- ③ ICT環境の充実：将来的な増設を含めた通信・電源環境を整備し、ICT環境の充実



●ユニット型教室の紹介(アクティブラーニングの授業風景例)

地域活動や生涯学習の拠点としての学校づくり

地域開放しやすい学校計画

- ① 開放施設を集約・専用の開放用玄関で単独利用・管理を可能
- ② 体育館とみらいひろばの連携、防災・投票所・地域イベントに有効



地域に開いたのびやかな学習環境により、
生徒とまちを一つにつなぐ「みらい・まちスクール」

配置図 兼 1階平面図

特別支援教室

南面の明るい場所に配置。まとめることにより落ち着いた環境が保たれる。車が寄り付ける専用出入口を設置し、様々な生徒へ対応可能。

駐車場

合計 120 台を確保
車いす用駐車場は 3 つの出入口
それぞれに 2 台 (計 6 台) 設置
西側車両出入口
通勤時の渋滞を考慮し西側出入口を確保。北側住宅前の通行も回避。

家庭科(被服・調理)

1 階に配置し、災害時インフラが復旧後には簡単な炊き出しなどを可能にする。

地域用出入口

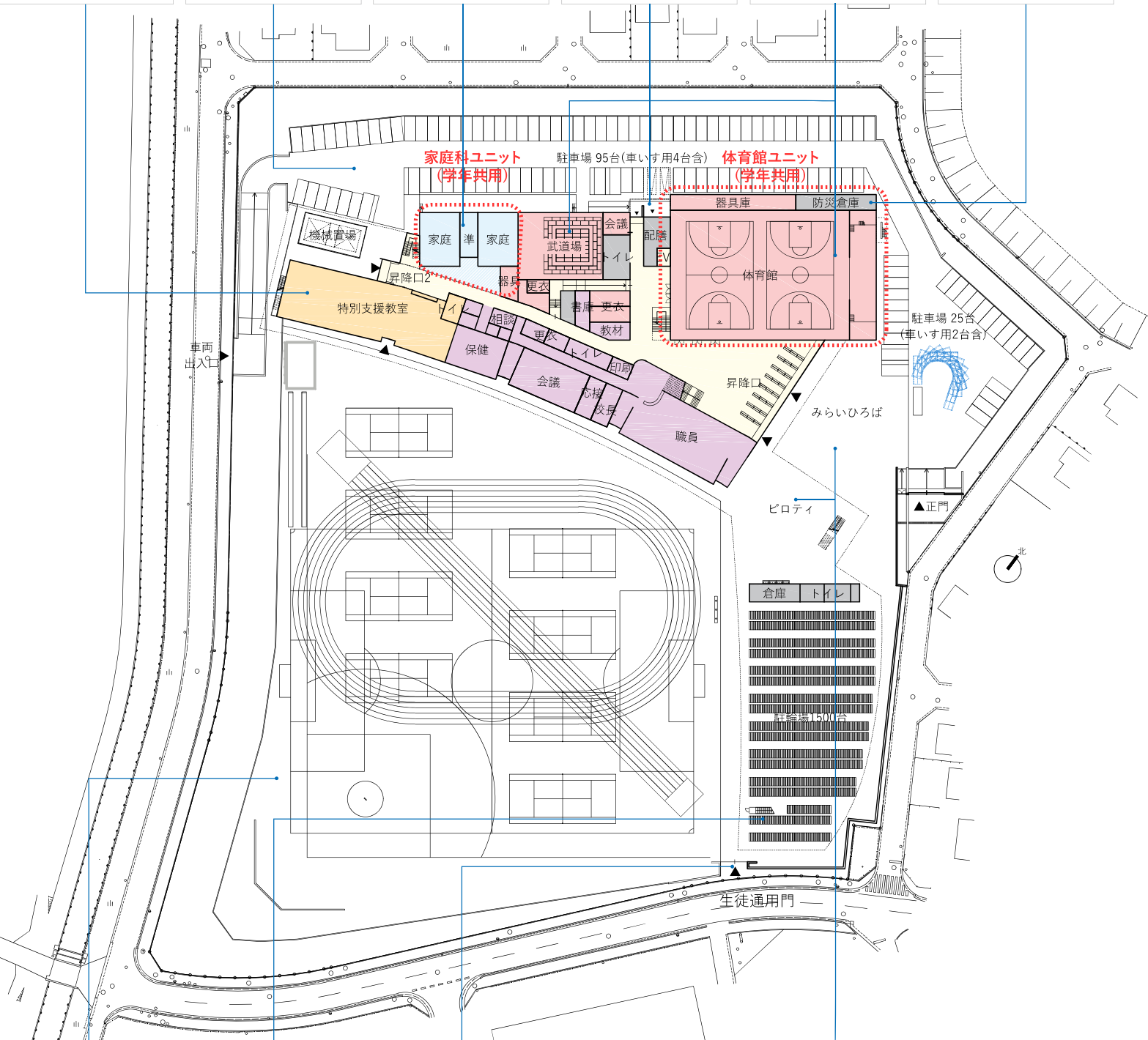
体育館・武道場を単独利用可
災害時には、避難所専用
出入口として対応可能
配膳室・搬入スペース
45 クラスの配膳動線に配慮し、建物中央に配膳室を設置。

体育館/武道館

体育館は天井高さ 10m、全生徒での集会が可能な広さを確保。みらいひろばと直接出入り可能で一体的な利用による様々なイベントに対応可能。
武道場は剣道・柔道に対応可。

防災備蓄倉庫

体育館と連携がしやすく
駐車場からの搬出入も容易
駐車場/バスロータリー
スクールバスが敷地内で旋回が可能なスペース確保。歩車分離により安全な登下校を実現



グラウンド

建物を北側に寄せ、円弧状に傾けることで広い面積を確保。200 mトラック、100m走路を確保でき、野球場・サッカーコート・テニスコート 8 面など様々な競技に対応。

駐輪場

全生徒 1500 台の駐輪スペースを確保。自転車動線と歩行者動線を左右で分け安全な登下校を可能にする。
将来、室や倉庫など拡張可能な計画。

生徒用通用門

広い道に接する部分に歩行者・自転車通学用の門を設置。多くの生徒が住宅地内を通過せず登下校可能な計画。
校庭への緊急車両動線としても利用可能。

職員室

昇降口とグラウンドに面し、登下校やグラウンドでの活動を見守る。来校者への対応も可能な位置に配置。校務センター型とし、グループアドレス (フリーアドレス) を採用し効率的な校務が可能な計画とする。

みらいひろば

生徒や地域を迎えるひろば。1500 人の生徒が安全登下校が可能な広さを持つ。
ピロティ
建物の一部をピロティとし雨天時も安心した登下校が可能。夏季の熱中症対策にも有効。

昇降口

みらいひろばに面し、間口の広い昇降口。昇降口から階段を昇ると学校の中心にあるラーニングコモンズが広がる。

4階平面図



ユニット型教室

普通教室を 3 クラスごとにユニット化。100 人程度のまとまりをつくることで大規模校でありながら、落ち着きと安心感のある学習・生活環境を確保。

普通教室

全教室南向き、明るく風通しの良い健康的な教室

3階平面図



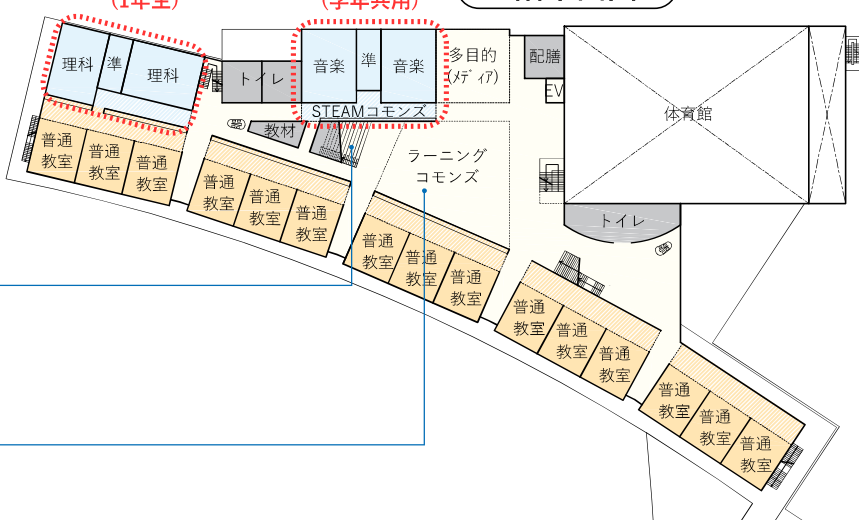
インクルーシブな環境

教室廻りに小空間・ベンチ等、生徒の居場所やクールダウンできるスペースを設けることで多様な生徒へ柔軟に対応。

緩やかな弧を描く配置

緩やかな曲線は、視線が通り過ぎないことでユニット型教室の独立性を高める効果があり、大規模校でありながらも教室まわりに生活空間としての落ち着きを与える教室配置。

2階平面図



大階段

発表・発信の舞台。学習成果の発表や部活動の練習や発表など、生徒のステージ。

ラーニングコモンズ

学校の中心に配置、生徒の登下校や教室移動時に、本や情報、他学年の学習展示に触れる機会を増やし、学習意欲や興味を誘う。

計画概要

- 校舎
(床面積) 14,101㎡ (構造) RC 造 (階数) 地上 4 階建
 - 屋内運動場
(床面積) 1,774㎡ (構造) SRC 造 (階数) 地上 1 階建
 - プール (下階: 駐輪場)
(床面積) 1,602㎡ (プール諸室・プールサイドの床面積による)
(構造) RC 造 (階数) 地上 2 階建
- ※建築基準法上は校舎、屋内運動場、プールを一棟で計画

プール

駐輪場上階にプールを設け、屋根面を利用し敷地を有効活用。広い校庭を確保。近隣への騒音や、視線に配慮し諸室を東側に配置。

プール

駐輪場上階にプールを設け、屋根面を利用し敷地を有効活用。広い校庭を確保。近隣への騒音や、視線に配慮し諸室を東側に配置。